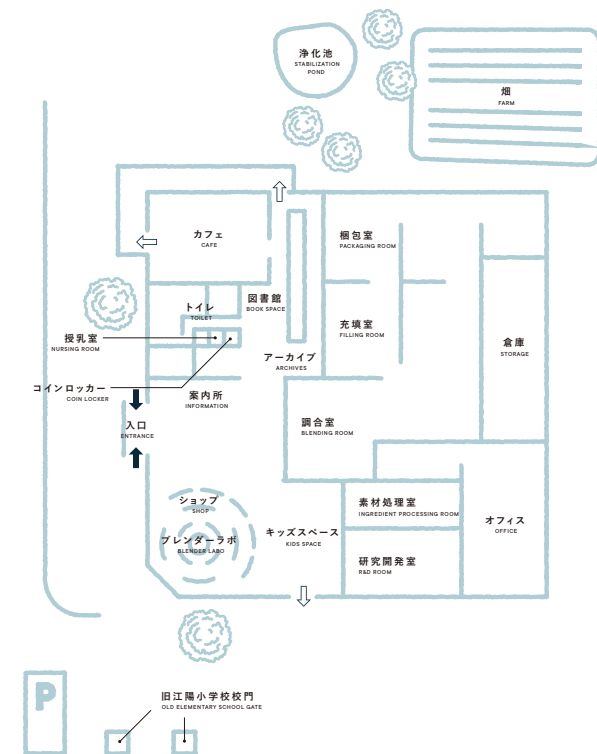


SHIRO

SHIROの新たな拠点「みんなの工場」が北海道砂川市に 2023/4/28(金)オープンします

コスメティックブランドSHIROを展開する株式会社シロは、生産量拡大を目的に創業の地である北海道砂川市の江陽小学校跡地に移転・新設する新工場と、ものづくり・環境・観光をテーマとする付帯施設の建設・運営を通じて市民の皆さんと共に取り組む「みんなのすながわプロジェクト」を2021年6月に発足いたしました。



砂川市やこの施設を「世界中から人が集まり、誰もが感動体験を持ち帰ることのできる場所」にすることを目指し、市民や子どもたちが主役のまちづくりを推進しています。

このたび、「みんなの工場」が4月28日(金)にオープンいたします。

「みんなの工場」は、SHIROの製品を製造する工場に、ショップ、カフェ、キッズスペースとラウンジなどを併設した、人と環境に配慮した循環型の施設です。SHIROのものづくりをすべて見ていただけるよう、壁ではなくガラスで仕切り、「工場を開く」ことを実現いたしました。

ショップ内のブレンダーラボでは、ご自分のオリジナルの香りを実際の工場と同じ製法でつくれる、ものづくり体験が楽しめます。ピンネシリの山々を望みながらゆっくりと過ごせるカフェやラウンジ、子どもたちの自由な遊び場や、小さな図書館も完備しているこの場所が世界中のみんなの居場所になることを願っています。

「みんなの工場」について

「みんなの工場」は、砂川市民の皆さんやプロジェクトに興味をお寄せくださった全国の方々とワークショップや議論をしながらオープンに向けた準備を進めてきました。「みんなの工場」という名称には、砂川市民と共に内装外装をつくり込んだり、森の循環を育てるために間伐した木材を使用して‘みんな’で外壁や家具をつくりあげることや、大人も子どもも、砂川市民も市外の人も、世界中からお越し下さる方々も、住んでいた動物も植物も、誰も排除することなく‘みんな’が集える場所にしたいという想いが込められています。



2023/4/28(金) オープンの「みんなの工場」



工事の様子

みんなの工場と付帯施設の特長



いつでもありのままが見える「開かれた工場」

工場エリアには研究開発室や素材の前処理室、調合室、充填室、包装室などがあり、ガラス張りの工場で行われる製造工程を付帯施設のどこからでも見ることができます。酒かすを手作業で搾ったり、人の手で丁寧にスピーディな充填を行うシロのものづくりの根幹を見ていただくことや、活き活きと働くスタッフの姿をより身近に感じていただくことにこだわり、来場者がより近くで製造作業の様子をご覧ください。



砂川本店のみの限定フレグランスを発売

製造体験をしながらオリジナルの香りがつくれる「ブレンダーラボ」

砂川市内で現在営業中の「SHIRO 砂川本店」を移転し、新たにオープンするSHIROショップ。オープンに伴い、砂川本店限定フレグランスを発売します。砂川の地で出合ったさまざまなフルーツからインスパイアされた香り「フルーツブーケ」のアイテムが登場します。また、ものづくりが体験できる「ブレンダーラボ」では、ご自分だけの香りをつくることができます。専用のボトルや過去の製造で余ったボトルなどからお好きな容器を選び、定番や限定の数種類のフレグランスから自分で香りをブレンド。世界でひとつだけの「マイフレグランス」が誕生します。



北海道の自然素材のおいしさをそのまま伝えるSHIRO CAFE

札幌市のイタリアンレストラン「TAKAO」の高尾僚将シェフと共に、直接生産者を訪ね、そこで見つけ出したさまざまな自然素材や、SHIROの製品に使用している素材のおいしさを料理でお伝えしていきます。第1弾のメニューでは、アイヌの薬膳・シケレベを使用したパンケーキや栗山町の小林酒造の酒かすと高知のゆずのスパゲッティなど、ここでしか味わえないメニューが多数登場します。また、薪を使用したピザ窯で職人が焼く、自然素材をシンプルに味わえる焼きたてのピザもお楽しみいただけます。



空中で子どもが遊べるジャングルネット

天井部分にジャングルネットを張るキッズスペースは、大人も子どもも共に過ごせるよう設計されています。自由に動き回ることができるネットの上は、子どもたち向けの空間でありながら、地上から大人がその様子を見守ることができます。ご家族で一緒に訪れても、子どもたちだけで遊びに来て、それぞれの時間を安心して楽しくお過ごしいただけます。さらに、子どもたちの遊ぶ声が響きすぎないよう、天井には店舗スタッフの古いユニフォームをアップサイクルしてつくられた吸音材を設置しています。



みんながそれぞれの時間を自由に過ごせるラウンジ

ラウンジエリアには、区切りを設けない長テーブルを設置。複数人でもおひとりでも使用でき、休憩はもちろん勉強や食事など、自由にお過ごしいただけます。西側に大きく開いた窓にはカウンター席があり、ピンネシロの山々を望みながら自分だけの時間を過ごしていただけます。南側の壁面には、階段状のベンチと2400冊の本や雑誌が並ぶ本棚も設置。自由に読んでいただくことも、購入することも可能です。長テーブル横の壁面棚では、SHIROの前身であるLAUREL時代のアーカイブ製品をご覧ください。



そのままの自然環境を守るランドスケープ

砂川の在来種を守り育てる「種ワークショップ」で市民の皆さんと種から拾い育てた苗木を植えたり、広場も芝生ではなく、自生している在来種の草を残したりと、この地にある自然と共存する屋外環境をつくっていきます。化粧品素材処理やカフェから出る生ごみからつくった堆肥を使って土づくりにも挑戦し、畑で野菜づくりも。施設からの排水を溜めて自然の浄化作用でより綺麗にしてから石狩川に流す浄化池も設置します。



「工場を開く」設計はアライイリエ・アーキテツ

施設設計としても、SHIROが大切にする「自然に合わせるものづくり」を理解してくれる建築家を探す中で、最初から真剣で本質的な有井さんと入江さんの提案に「一緒に未来をつくっていける」と確信。実際の設計でも、施主と建築家の枠を超えて一緒に悩み意見を交わしながら、「工場を開く」「ここで働くことが誇りになる」施設を具現化することができました。「つくる人」と「つかう人」の距離が物理的にも心理的にも近づくSHIROらしい施設で、お二人が作り出す空気を感じてみてください。

アライイリエ・アーキテツ

有井 淳生 (アライ アツオ)、入江 可子 (イリエ カコ) により2015年に設立。

主な作品に岩手県盛岡市のロースターカフェ「Nagasawa COFFEE」、障害のあるアーティストの作品を発信するギャラリー「HERALBONY GALLERY」、倉庫とオフィスが融合した「清光社 埼玉支店」など。清光社 埼玉支店で、JID AWARD 2020 大賞、第47回東京建築賞 一般一類部門最優秀賞、第24回木材活用コンクール林野庁長官賞など受賞多数。

人も環境にも配慮した循環型の施設

株式会社シロでは創業当初より、国内外の自然素材の力を最大限に引き出し、素材の力を余すところなく引き出した製品づくりを行ってきました。製品づくりにおいて自然の恵みをたくさんもらっているからこそ、「地球環境に与える負荷をできる限り減らし、限りある資源を守ること」「地球環境や社会に配慮する視点や発想に基づく事業運営」を大切にしています。「みんなの工場」の建設・運営においても、地域社会にも地球環境にも配慮した循環型の施設を目指し、下記の目標のもと取り組んでまいります。

みんなの工場における「人と環境に配慮した取り組み」

今後も新たな取り組みを検討し、社会と地球環境に配慮した施設づくりに取り組んでまいります。

<p>再生可能エネルギー 100%使用</p>	<p>自然光を取り入れた 工場作業スペース</p>	<p>入館料無料で 全ての子どもたちの 居場所</p>	<p>排水は浄化池を経て 石狩川に</p>	<p>リサイクルした水を 洗浄水に再利用</p>	<p>雨水の浸透を配慮し 砂利を利用</p>
<p>外壁木は間伐材を100%利用し 道内材を活用する</p>	<p>間伐材の薪を料理火に 枝葉は化粧品原料に</p>	<p>施設内の植物は 100%地元産の在来種</p>	<p>廃棄するシロの制服を 吸音材に</p>	<p>道内産食材を使用して 地産地食を実現</p>	<p>気候変動に対応した 防災施設</p>
<p>産業廃棄物を家具に アップサイクル</p>	<p>木を積極的に活用し 林業従事者の 活躍機会を創出</p>	<p>フレンドラーゴで 使用するボトルは 残資材を活用</p>	<p>山を再生することで CO2吸収を促進</p>	<p>廃材木材を 床に有効利用</p>	<p>コンポストで 生ごみを堆肥に</p>

施設概要

施設名称 : みんなの工場
所在地 : 北海道砂川市豊沼町 54-1 (江陽小学校跡地)
敷地面積 : 20,332 m²
全施設面積 : 2,881 m² (工場施設延床面積 : 1,781 m² 付帯施設面積 : 1,100 m²)
着工 : 2022 年 5 月 1 日
竣工 : 2023 年 4 月 13 日
オープン : 2023 年 4 月 28 日 (金) ※製造工場は 2023 年 1 月より一部稼働開始中

【公式サイト】 <https://shiro-shiro.jp/ext/sunagawa-factory/index.html>
*サイト内「みんなの工場」をご覧ください。随時、情報はアップデートしてまいります。
<https://shiro-sunagawa.jp/>
*みんなのすながわプロジェクトの、これまでの活動はこちらをご覧ください。

【公式 SNS アカウント】 YouTube : https://www.youtube.com/c/shiro_channel
Instagram : @shiro_japan
https://www.instagram.com/shiro_japan/
Twitter : @shiro_official
https://twitter.com/shiro_official
Facebook : <https://www.facebook.com/shiro.officialsite/>

SHIROについて

「自分たちが毎日使いたいものをつくる」というシンプルな想いからスタートしたコスメティックブランド。
自社内に開発から販売まですべての機能を持ち、創業当初からエンカナルな信念に基づくものづくりを続けている。
厳しい自然が育んだ素材を国内外から見つけ出し、そのちからを最大限に引き出すスキンケア、メイク、フレグランスアイテムを提案。
日本全国に直営店舗を展開するほか、ロンドンに実店舗を構え、台湾や米国では自社EC、中国では越境ECでの販売を行う。
製品に使う素材同様、厳選した食材を届ける食のセレクト[SHIRO LIFE]、
素材のおいしさを料理で伝えるカフェ[SHIRO CAFE]、
SHIRO が提案する美しさを最大限体感できるサロン[SHIRO BEAUTY]などの業態も展開。
2021年6月から、SHIROの創業地である北海道砂川市にて、
工場の移転新設と市全体の活性化を目指すまちづくり「みんなのすながわプロジェクト」を推進。
2023年1月から新工場の稼働をスタートさせ、同年4月28日には新工場と付帯施設を含む「みんなの工場」がオープン予定。

会社概要

企業名 : 株式会社シロ
所在地 : 〒107-0061 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー 8F
設立 : 1989 年 10 月 23 日
代表取締役 : 福永 敬弘 (ふくなが たかひろ)
事業内容 : 自社ブランド「SHIRO」の企画、開発、製造、販売、
店舗運営 (「SHIRO/化粧品、雑貨」「SHIRO LIFE/食物販」「SHIRO CAFE/飲食」
「SHIRO BEAUTY/サロン」、SHIRO オンラインストア等、通販事業運営)
URL : <https://shiro-shiro.jp/>

お問い合わせ先

みんなのすながわプロジェクト事務局 (株式会社シロ 内)
北海道砂川市豊沼町54-1 TEL: 0125-52-3756

お客様からのお問い合わせ先

シロ カスタマーサポート
E-mail: info@shiro-shiro.jp